

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あぶれんどもじ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 7日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による専門的な評価・支援ができる	理学療法士・作業療法士・保育士など専門職による直接支援が行える。	職員の知識・技能を高めるため、外部研修会への参加や内部研修などを積極的に行っていく。
2	利用児童に対して個別療育と集団療育の両方を行っている	個別療育での本児の特性や学習等における課題、児童の希望に沿った支援によって個々の能力向上を支援する。集団療育ではSSTなどソーシャルスキルの向上を支援している。	個々の児童の課題をきめ細やかに抽出するため、職員間で情報共有や事例検討を行い、より質の高い支援が提供できるようにしている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場がない	保護者会やイベント等の機会がない。	保護者会の開催などを検討し、保護者同士が交流できる機会を作っていく
2	面談や児童についての情報共有の場が少ない	連絡帳への記載や、送迎時のやり取りにおける情報伝達の時間が少ない。また、面談等の機会が少ないので保護者がどんな情報を求めているのかが正確に把握できていない。	定期的な面談の機会を作っていくとともに、利用の都度の様子を細やかに伝達できる手段を検討していく。
3			